

令和 9 年度歳出予算概算要求の概要説明

会計検査院の令和 9 年度歳出予算概算要求・要望総額は、17,325 百万円となっています。

(単位：百万円)

	令和 8 年度 当初予算額	令和 9 年度 要求・要望額	比 較 増 △ 減 額	対 前 年 度 増 △ 減 率
会計検査院	16,928	17,325	397	2.3%

(注) 上記のほか、情報システム経費 939 百万円をデジタル庁に一括計上

会計検査院は、内閣から独立した憲法上の機関としての使命を果たすため、会計検査機能を確保する施策として、次の 3 項目を重点事項として要求しています。

[9 年度要求・要望額 (8 年度当初予算額)]

1 検査活動に係る経費 1,154 百万円 (1,085 百万円)

○会計検査情報システム経費 447 百万円 (439 百万円)
情報通信技術を積極的に活用して業務の効率化及び事務処理の省力化・迅速化を図り、検査業務のデジタル化を推進するための情報システム経費

○検査旅費 456 百万円 (417 百万円)
国内における検査や O D A の現地調査等を実施するための旅費

○会計検査活動費 250 百万円 (229 百万円)
会計実地検査を厳正かつ円滑に実施するための資料収集に必要な経費、実地検査関係等経費

2 研究・研修体制に係る経費

185 百万円 (173 百万円)

検査活動に資する研究を推進するための調査研究経費及び検査対象機関の行財政や施策等の複雑多様化・専門化等に的確に対応するための会計検査院職員に対する研修、内部監査の充実強化等を図るための各府省・地方公共団体等職員に対する講習会等の研修経費

3 国際業務活動に係る経費

55 百万円 (54 百万円)

各国の会計検査院で構成する国際組織の理事国としての国際貢献、各国の会計検査院との検査能力向上のための情報交換及び会計検査に関する国際的協調の動向に対応する情報収集・発信を行うための経費

令和 9 年度定員要求について

国会からの検査要請を受けて実施することども・子育て施策、賃上げ環境整備に係る施策等に関する検査の充実強化等のため増員 27 人

（会計検査院における定員合理化計画に基づく定員合理化等△13 人と差引純増 14 人）

(参考)

近年の予算の状況等に対応した新たな検査体制を整備するため、令和 9 年 4 月に事務総局の組織改編を行う予定

主な改編内容

- ・ 第 4 局にこども家庭庁の検査を分掌することども家庭検査課を設置
- ・ 第 2 局に防衛省に係る横断的な検査を分掌する防衛検査第 1 課防衛統括検査室を設置

※いずれも既存の機構の振替により設置